

インフォーク 【INFORK】

広い近用視野で境目の無い「次世代二重焦点レンズ」

株式会社ティーエスエル



各レンズタイプにおける、主なメリットとデメリット！？

二重焦点レンズ

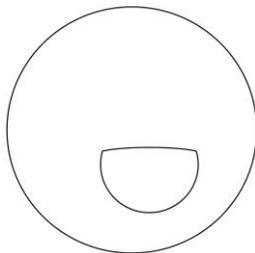
- ・大玉(遠用部)と小玉(近用部)がはっきり分かれていて、明視域も共に広めの構造になります。
- ・小玉(近用部)がはっきりしているのので、いかにも老眼鏡という構造になってしまいます。
- ・小玉の境目と倍率の差による急激な像の変化でイメージジャンプを感じる場合があります。

累進多焦点レンズ

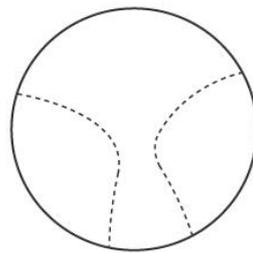
- ・境目が無い遠近両用レンズで、傍目から見て老眼鏡と分かりにくい構造です。
- ・度数が徐々に変化する累進帯構造のため、揺れを感じたり周辺部に歪みが生じます。
- ・様々な手法を施しても、近用部の広さは二重焦点レンズが優ります。

インフォーク (次世代二重焦点レンズ)

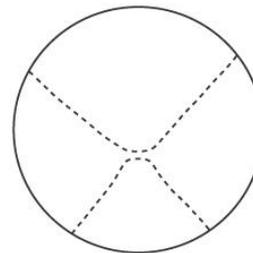
- ・近用部の明視域約50%アップ (バリアルシエロ比)
- ・二重焦点構造なので、揺れが無く周辺部の歪みも少ない。
- ・遠近の境目がないので、傍目から見てすっきりしている。



二重焦点レンズ



累進多焦点レンズ



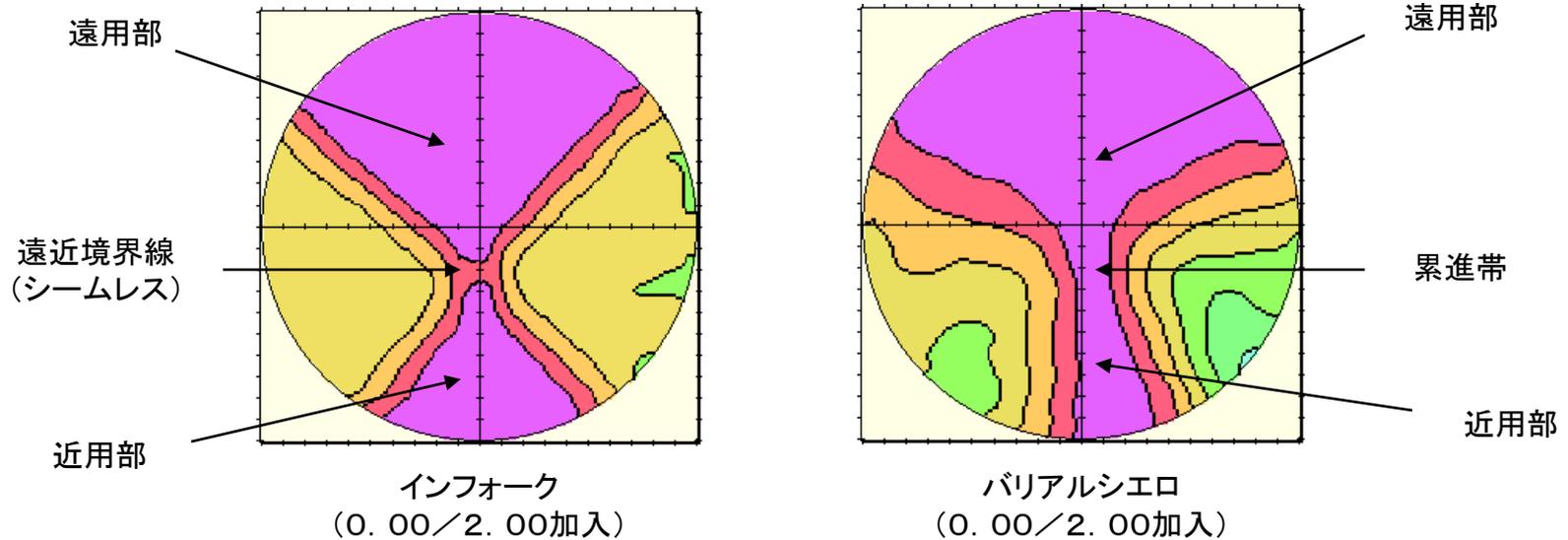
インフォーク
(次世代二重焦点レンズ)

今までにない
二重焦点レンズです。



インフォーク (次世代二重焦点レンズ)

レンズマッピング図



インフォークの魅力について！

- ・遠近の境界線がシームレス構造となっているので、傍目から見てとてもすっきりしている。
- ・二重焦点構造なので累進多焦点レンズと比較して、揺れが無く周辺部の歪みも少なくできる。
- ・広い近用部が確保できるので、累進多焦点レンズより手元作業が楽になります。

※遠近境界線(シームレス)は、度数の無い見えない領域となります。

製作範囲

【こういう方にお勧めください！】

- ・従来の二重焦点レンズをお使いの方。
- ・累進多焦点レンズの揺れや周辺部の歪みに慣れない方。
- ・二重焦点レンズの小玉の境目が気になる方。

1. 広い近用視野で境目の無い次世代の二重焦点レンズ
2. 左右非対称設計
3. 近用視野面積約50%増（バリエーション比）
4. 新撥水“SPLASHコート”標準装備
5. UV吸収剤練り混み基材使用
6. 米国F.D.A.基準をパスした耐衝撃性プライマーコート標準
7. 紫外線UV-A・UV-Bカット、赤外線減光

● 加入度 0.75ADD～2.00ADD (0.25ADDとび)

<特注加工>

1. プリズム加工 P0.25△～P2.50△迄
2. カラー染色 アリアーテ・レイバン(G15・G31・#3)
3. 補厚指定
4. 強く硬いコーティング エセンシアコート(ENA)
 - ① 耐擦傷性: ガラスマルチコートと同等以上の性能を実現(当社比)
 - ② 耐熱性: 従来品との比較において約10%向上(当社比)
5. ヒートガードコート(HGC)
 - ① 真空蒸着技術を進化させ、熱クラックの発生を画的に低減
【耐熱温度: 115°C(丸玉) 95°C(砕入れ後)】
 - ② 傷に強いENAコートと同等の耐擦傷性
 - ③ 静電防止機能によりホコリや花粉が付きにくい
 - ④ 撥水コート付きで汚れが付きにくく拭き取りやすい
 - ⑤ 自然なグリーンの反射光で干渉縞も低減
6. ミラーSPL(表面ミラー水ヤケ防止付き+裏面SPL)2011/8/1出荷分より

<注意事項>

1. 外径指定・偏心加工：不可

